

# I 調查概要



## 1 調査の目的

市立図書館のあり方についての検討を行うにあたり、図書館に対する市民ニーズ等を的確に捉え、今後の図書館サービス等の方向性を示すため、川崎市立図書館利用者アンケート調査を実施した。

## 2 調査の方法

- (1) 調査の実施場所 川崎図書館、幸図書館、中原図書館、高津図書館、宮前図書館、多摩図書館、麻生図書館、大師分館、田島分館、日吉分館、橘分館、柿生分館、菅閲覧所（全13か所）
- (2) 調査の対象者 概ね15歳以上の川崎市立図書館来館者
- (3) 標本数 2,980標本
- (4) 調査方法 図書館入口で、来館者にアンケート用紙を配布し、図書館内設置の箱で回収
- (5) 調査期間 令和元年8月27日（火）～9月10日（火）の期間内に、各館2日（平日1日及び休日1日）用紙を配布した。（回収箱は9月15日まで設置）

## 3 調査項目の概要

- (1) 利用頻度（過去3ヶ月間に利用した回数）
- (2) 利用の曜日（過去3ヶ月間に利用した、平日と土・日曜日、祝日の比較）
- (3) 利用時間帯（過去3ヶ月間に最も多く利用した時間帯）
- (4) 滞在時間（過去3ヶ月間に利用した際の滞在時間）
- (5) 利用目的（過去3ヶ月間に利用した主な目的）
- (6) 今後の利用の意向（過去3ヶ月間に利用しなかったが、今後利用したいもの）
- (7) 今後の図書館に必要と考えること

## 4 回収状況

(1) 標本数	2,980 標本
(2) 有効回収数	2,735
(3) 有効回収率	91.8%

## 5 報告書の見方

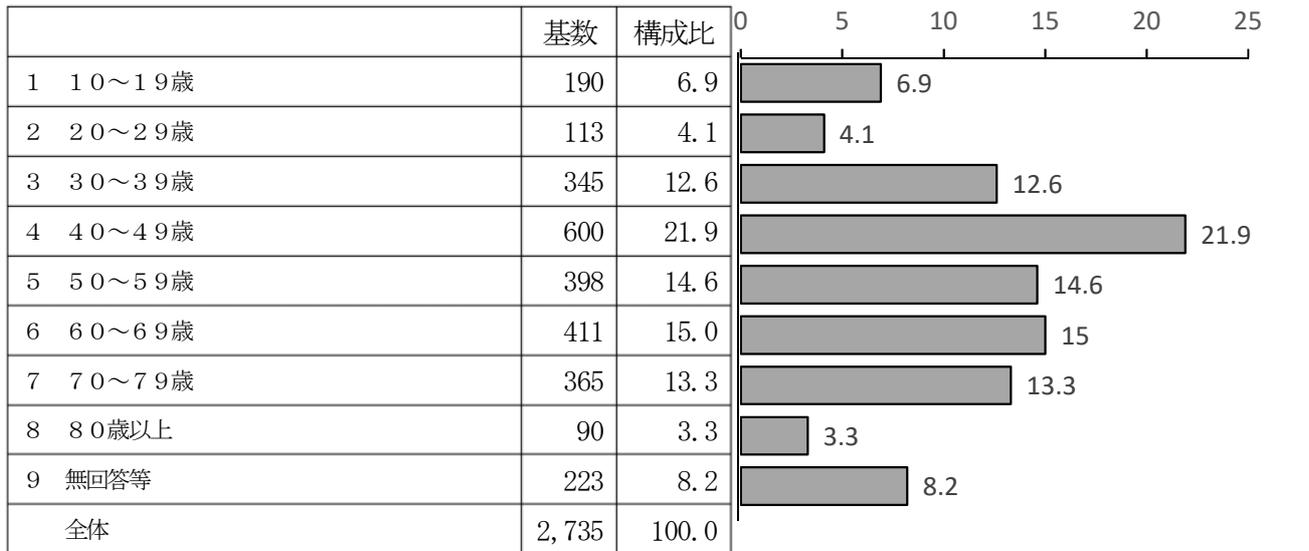
- (1) 調査結果の集計は、小数点以下または小数点第2位を四捨五入してある。そのため、図表中の数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問は選択肢ごとの比率を合計しても100%にならない。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記等は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。



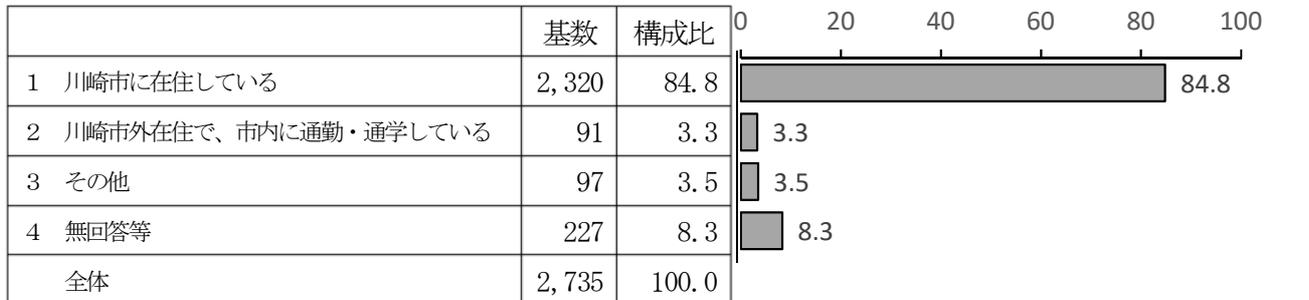
## Ⅱ 調査回答者の属性



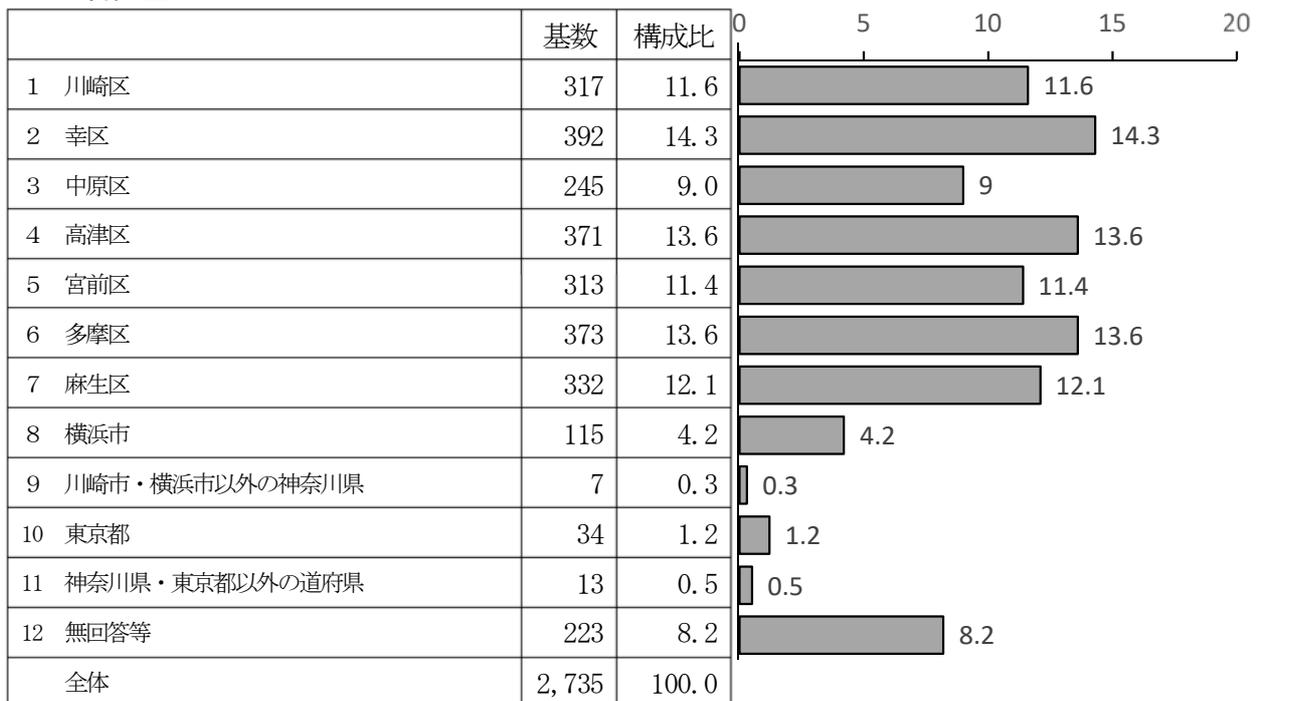
### 1 年齢



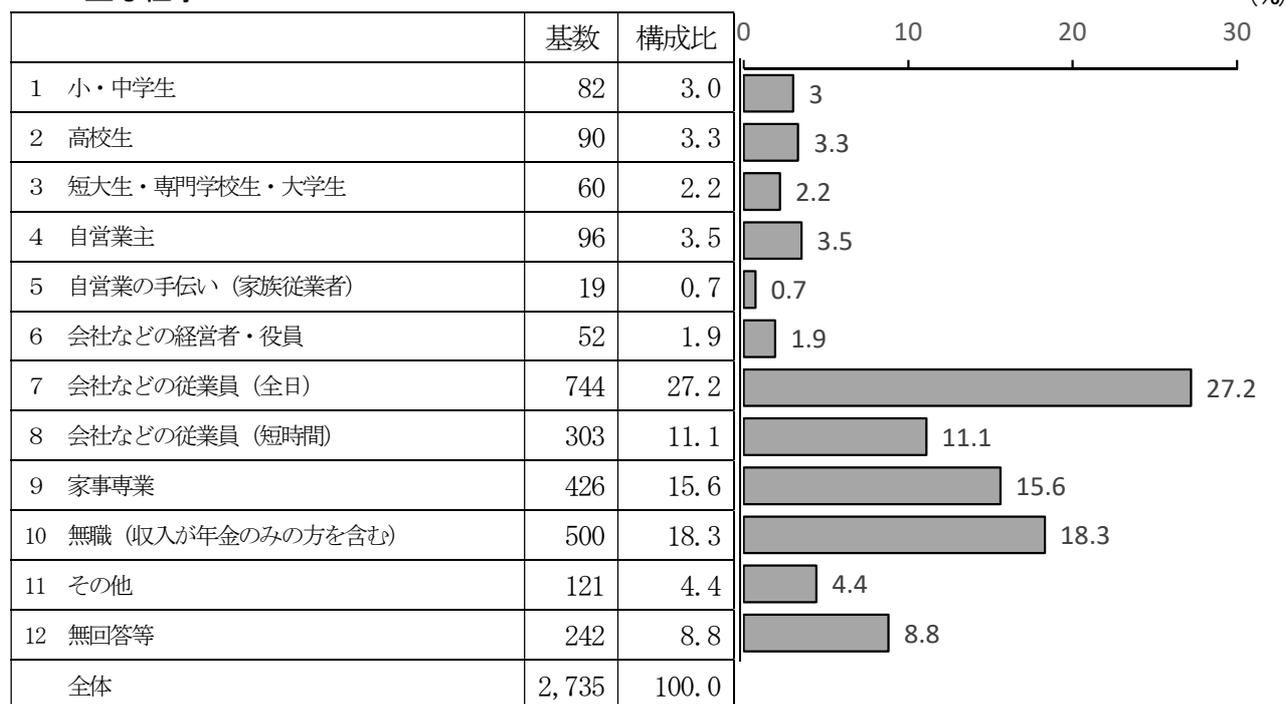
### 2 居住地（市内・市外）



### 3 居住区



#### 4 主な仕事



#### 5 仕事以外に行っていること(仕事以外の属性)

(複数回答)

全体 (n=2,735)

